

第7回 SAスキルUPミーティング 名古屋 結果報告

2019年11月01日（金） 10:30～17:00

三菱電機株式会社 名古屋製作所

FCC 4F Bホール



セーフティアセツサ部会
(旧セーフティアセツサ協議会)

Agenda



【プログラム】 10:30 ~ 17:00 (受付 10:00 ~ 10:30)

- 10:30 ~ 10:35 **ご挨拶、諸連絡**
- 10:35 ~ 11:35 **SA協議会会長から挨拶とビデオ講演 (60分)**
明治大学名誉教授 向殿 政男 氏
「新時代の安全確保活動」
- 11:35 ~ 13:00 **休憩 (昼食)**
- 13:00 ~ 14:00 **講演 (60分)**
向殿安全賞講演
S-Tech Lab (エステックラボ) 大西 正紀 氏
「ロボット安全」
- 14:00 ~ 14:15 **休憩**
- 14:15 ~ 16:50 **グループディスカッション+発表**
- 16:50 ~ 17:00 **情報提供、閉会、片づけ**

【懇親会】 17:30 ~ 19:30 熟成肉バル「オオゾネウッシーナ」

2. 参加者結果



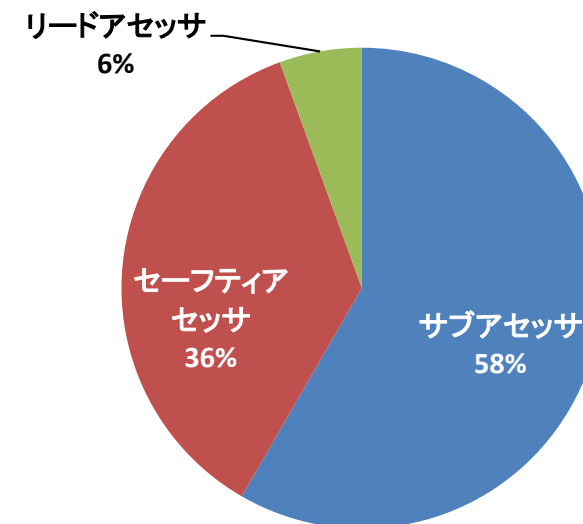
【参加者の内訳】

- ・参加申込者：44名
- ・参加者：38名
- ・懇親会参加：11名
(懇親会のみ、講師、WGメンバ含む)



【会場の様子】

【参加者の資格別内訳】



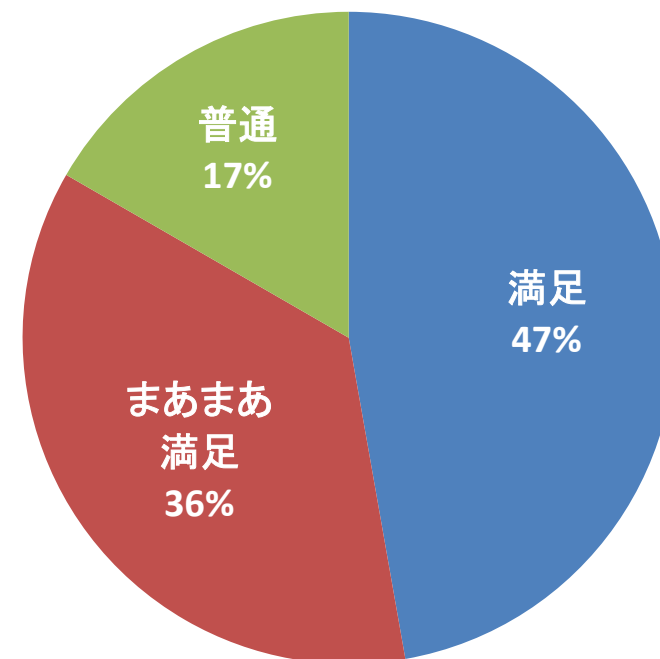
3. 結果報告 (1)



SA協議会会長から挨拶とビデオ講演

Safety2.0の話聞く機会をどんどん設けて欲しいとの要望と全体を通して分かり易くて良かった、安全の動向が良く理解できたとの評価を頂きました。

また、会長のコメントが早口で分かり難いところがちらほらあったとの不満もありました。

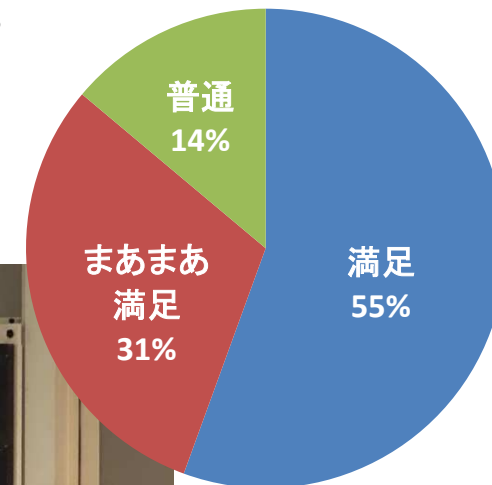


3. 結果報告 (2)



講演：S-Tech Lab（エステックラボ） 大西 正紀 氏 「ロボット安全」

協働ロボット導入の難しさや煩わしさを強く感じた、協働ロボットの導入は進めるように言われているが、技術不足（知見不足）を思い知らされた等、講演を聞いて協働ロボットに対する見方が変わったようでした。予定時間を大きく過ぎても質疑応答が続きました。RSA勉強時の復習になり良かったとの声もありました。



3. 結果報告 (3)



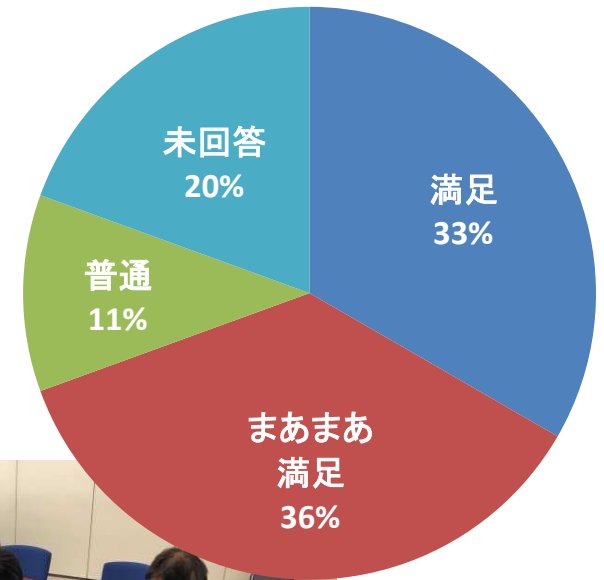
グループディスカッション

「溶接ロボットシステムのリスク低減」について考える

溶接ロボットシステムの運用ビデオを見て頂き、SAとしてリスクの洗い出しとリスク低減策を、講演内容を参考に、9グループに分かれて討議しました。短時間ながら、参加者の皆さんが熱の入った討議をされていました。



【会場の様子】

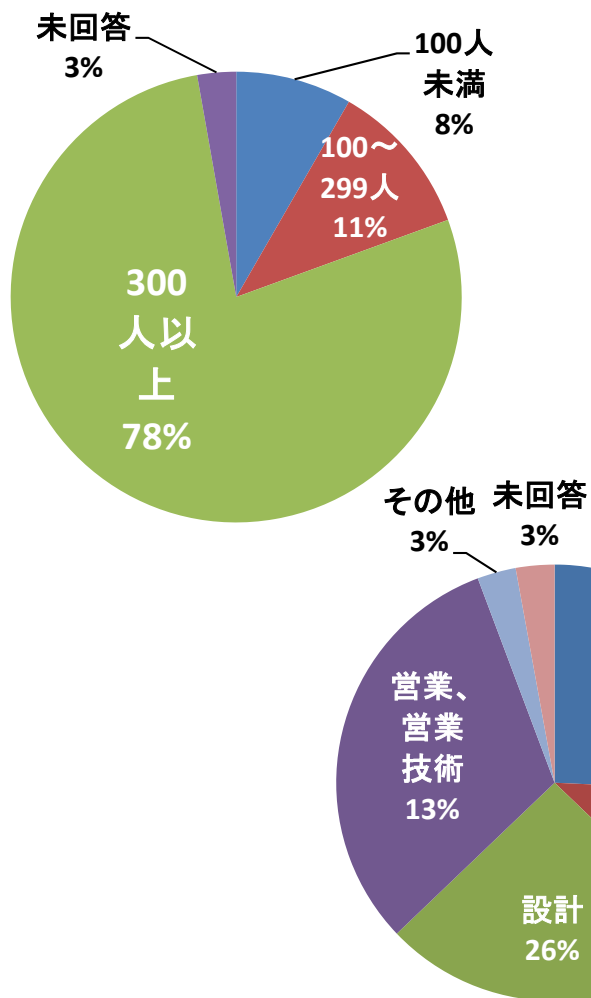


4. アンケート結果

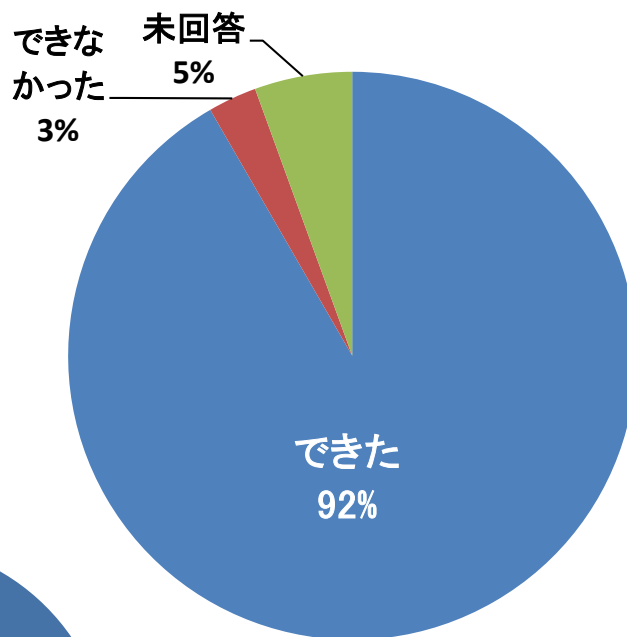


参加者38名中36名の方からご回答頂きましたアンケート結果は以下の通りでした。

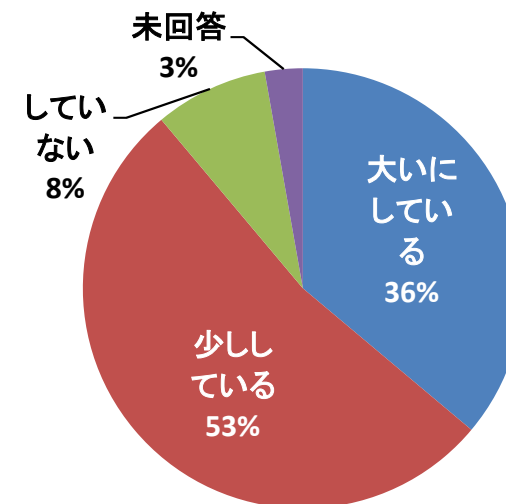
【参加者の勤務先規模と業務】



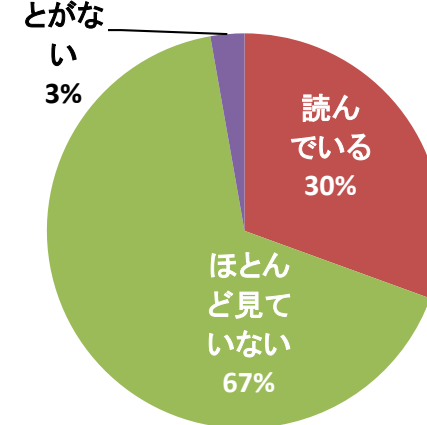
【スキルアップできたか？】



【機械安全普及促進活動】



【会員ページの利用】



比較的規模の大きい企業からの参加が大半

会員ページ利用者は増加傾向？

参加者による懇親会

参加者の内、有志による懇親会を実施しました（参加者11名）
皆さん、常日頃から抱いていた疑問点等について、会社の垣根や年齢、肩書等を超えて、
屈託のない 意見交換を実施して頂きました
最後は、皆さんが中部地区での機械安全の推進に向けて“一本締め”で締めさせて頂きました



今回、残念ながら懇親会の様子撮影することができていませんでした
(上の写真は会場のWEBサイトより)

6. 参加者からのご意見・ご要望（アンケートより）



(1) 講演について

参加者の80%以上が「満足/まあまあ満足」と回答

<ご意見>

- ・最新の規格を知ることができて良かった。分かり易かった。
- ・安全の動向が良く理解できた。
- ・決まりごとのお話が多かったので、実体験に基づいた例があれば良かった。
- ・ISO10218-1/-2、労働安全衛生法の内容の理解が深まった。
- ・ロボットについて知見ができた。
- ・協働ロボットを使う上での留意点の理解が深まった。
- ・ISO改訂内容は理解できた、ただ協働ロボット導入に関してはハードルが高すぎてしまう。
- ・協働ロボット導入の難しさや煩わしさを強く感じた。中小企業等は法令遵守することなく広まりそう。
- ・協調ロボットに関して、採用はかなり難しいことは良く理解できたが、その内容がユーザーに伝わっていないのではないかと思う。SA協議会としてもっと情報を伝えるべきでは。
- ・ロボットの講演は内容が濃く消化不良気味でしたが、考え方や大西先生の熱い想いは理解したつもりで、職場でもその想いを伝達したい。

<ご要望>

- ・ロボット安全については何か例を示して欲しかった。
- ・質疑応答をもう少し長くやって欲しかった。

6. 参加者からのご意見・ご要望（アンケートより）



(2) グループディスカッションについて

参加者の69%が「満足/まあまあ満足」と回答
前回より満足度が低下

<ご意見>

- ・ 多人数でRAを実施することでモレ、抜けを防げることを改めて感じた。
- ・ RAのやり方も色々と感じた。
- ・ 非常に活発な意見が出て勉強になった。
- ・ 他社との意見交換もできて良かった。
- ・ グループディスカッション実施は良かった。

<ご要望>

- ・ 危険源の同定からリスク低減対応まで一連の作業をグループで討議したら良いのでは。
- ・ 業種、職種でグループ分けして欲しかった。
- ・ ディスカッションの時はもう少し短くてもOK。

<今後討議したいテーマ>

- ・ 協働作業ロボット導入時のRAケーススタディもやって欲しい。

(3) 会員専用ページの利用について

「見たことがない」と回答した参加者は3%、利用者が増加傾向か？

<ご意見>

- ・ あまり見えていない。これからは読むようにしたいと思う。



(4) 全体について

参加者の92%が「スキルアップできた」と回答

<ご意見>

- ・大変勉強になった。
- ・有意義な催し企画だったので、社内のSAやSSAに声を掛けて誘いたいと思う。
- ・ロボットに特化しており参考になった。
- ・社内の安全に対する考えが遅れているので展開したい。
- ・交流の場が大切と感じた。
- ・RAの際、色々な観点があることが分かった。
- ・もう少しコンパクトにまとめられるとさらに理解度が増す。

<ご要望>

- ・SAとSSAではスキルに差があるのでスキル別のミーティングが良いかもしれない。
- ・RAを社内に普及させたいが、なかなか定着しない。何か良い教育方法を教えて欲しい。
- ・他社の見学会
- ・SUMは積極的に行って欲しい、また無償での開催希望。（有償は自腹となるため参加し難い）
- ・ロボット以外のテーマを取り上げて頂きたい。
- ・実際の現場でどんな用紙を使用してRAをしているのか、また、残留リスクを現場でどのように活用しているか等、実務レベルの例が知りたい。



- 今回も大変有意義なミーティングであった。
講演についても好評価な意見が多かった。
- 参加者数は、前回の26名に対し38名と増加したが、懇親会は前回と同じ11名であった。（内5名が県外からの参加）
- 今回も中部地区の産業を考慮し、ロボットに関するテーマで講演とグループディスカッションを構成。その効果なのか参加者が増加した。
（定員40名に対し、申込み開始3日目で定員に達した）
次回もロボットに関するテーマを継続して行きたい。
- 前回のグループディスカッションで、時間がもう少し欲しかったとの要望があり、今回時間を多く取ったが、逆にもう少し短くても良いとの意見が出た。また、業種や職種によってグループ分けして欲しいとの要望もあり、異業種情報交換の場としての評価も高いので、討議時間を含め、運営方法等の工夫をして行きたい。
- 東京や大阪に比べてまだまだ力不足なので、WGメンバ拡充も引き続き課題。